



# 燃ゆる感動 かごしま国体 2020

The 75th National Sports Festival 2020 in Kagoshima

vol.3  
2017.3

## 枕崎市

かごしま国体を機に  
枕崎の魅力も伝えたい



2015年、枕崎の鰹節は、生産量日本一!



**実施競技**  
なぎなた  
立神岩(たてがみいわ)  
枕崎市のシンボル。風光明媚な景色も枕崎市の自慢のひとつ。



黒潮と太陽のまち枕崎から、かごしま国体を盛り上げます!

(左から)主事補 岩尾 洋乃さん、主任 茅野 将也さん、主任 安楽 直樹さん、課長 米森 基さん  
主幹兼係長 藤井 和一さん、指導員 竹中 秀男さん、指導員 柳田 優里さん

枕崎市は日本一の鰹節の生産量を誇る全国有数の港町。また、ぶえん鰹やかつお船人めし、鹿籠(かご)豚や姫ふうき[紅茶]など食の宝庫でもあります。かごしま国体ではなぎなたが実施される予定で、競技会場となる枕崎市立総合体育館は照明のLED化や、床全面張り替えなどの改修が行われています。選手の皆さんにはもちろん、観客の皆さんにも快適な環境で楽しんでいただきたいと思います。

2016年9月に開催された、県民体育大会でもなぎなたが本市武道館で実施されました。また、小中学生をはじめ、市民の皆さんが気軽になぎなたに親しめるよう、各種イベントも開催しています。かごしま国体では、市民の皆さんとともに、枕崎の魅力を県内外の方々に広くアピールできるよう、頑張ります。

○枕崎市教育委員会 保健体育課 TEL 0993-72-0170



なぎなたが実施される枕崎市立総合体育館は、現在改修中。照明をLEDに変更し、床全面の張り替えも行っています。

## information

### 希望郷いわて国体成績

平成28年10月1日(土)~11日(火)[水泳競技は同年9月4日(日)~11日(日)]に開催された「希望郷いわて国体」に、鹿児島県から35競技467人の選手団が参加しました。上位入賞者は以下のとおりです。

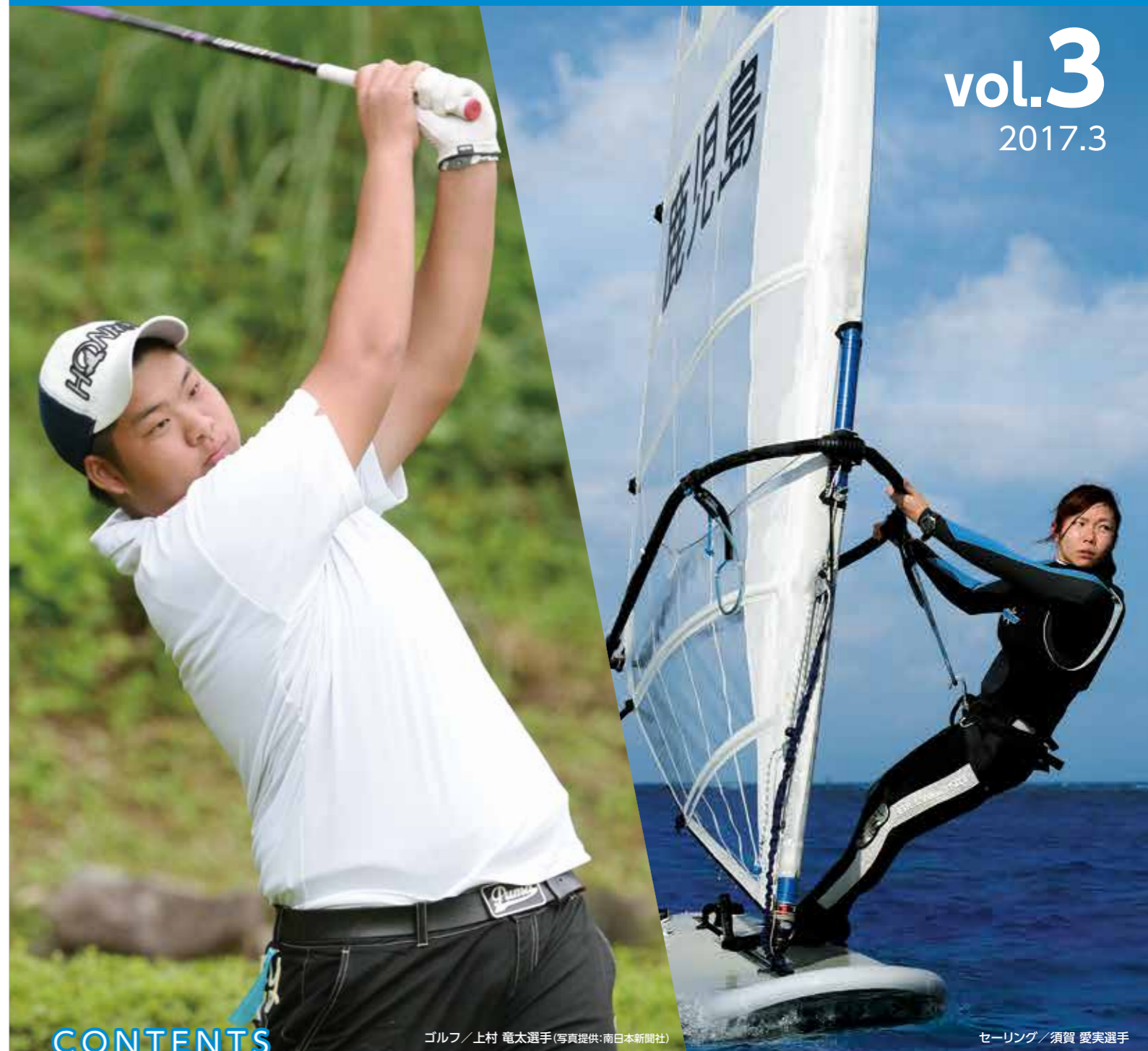
天皇杯 32位(895点)  
皇后杯 28位(551.5点)

順位	競技名	種目	種別	出場選手	所属
1位	馬術	スピードアンドハンディネス	少年	上村 司	福平中学校3年
	弓道	遠的	少年男子		県選抜
	レスリング	フリースタイル125kg級	成年男子	田中 哲矢	自衛隊体育学校
フリースタイル60kg級		少年男子	榊 大夢	鹿屋中央高校3年	
2位	馬術	標準障害飛越	成年女子	原田 いずみ	霧島高原乗馬クラブ
		団体障害飛越	少年	栗 拓樹	霧島高校3年
	ソフトボール	-	少年女子	上村 司	福平中学校3年
	ラグビーフットボール	-	成年男子		神村学園高等部
	自転車	ポイントレース	成年男子	富尾 大地	鹿屋体育大学2年
	レスリング	フリースタイル120kg級	少年男子	柳 魁十	鹿屋中央高校3年
3位	ウエイトリフティング	94kg級スナッチ	成年男子	下原 卓朗	川内高校教員
	馬術	スピードアンドハンディネス	成年男子	村岡 一孝	霧島高原乗馬クラブ
	フェンシング	サーブル	成年男子		県選抜
	陸上競技	走幅跳	成年男子	下野 伸一郎	九電工
少年男子			竹之内 優汰	鹿児島南高校3年	

順位	競技名	種目	種別	出場選手	所属
3位	自転車	スクラッチ	女子	上野 みなみ	CIEL BLEU KANOYA
		ケイリン		塚越 さくら	
3位	カヌー	カナディアンシングル500m	少年男子	宮原 直也	伊佐農林高校3年
		カナディアンシングル200m			
3位	弓道	近的	少年男子		県選抜



鹿児島県選手団



## CONTENTS

▶インタビュー

辛島 美登里さん

「ふるさとへの想いを歌に込めて」

- ▶かごしま国体情報 2020年オリンピック対策に伴う導入競技(種目・種別)
- ▶アスリートの情熱 下原 卓朗さん(ウエイトリフティング)
- ▶スポーツを知る セーリング/ゴルフ
- ▶かごしまっふ 枕崎市

ゴルフ/上村 竜太選手(写真提供:南日本新聞社)

セーリング/須賀 愛実選手

燃ゆる感動かごしま国体 vol.3 2017年3月発行  
第75回国民体育大会鹿児島県準備委員会  
(事務局:鹿児島県知事公室国体準備課内)  
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号  
TEL 099-286-2865 FAX 099-286-5553  
E-mail kokutai@pref.kagoshima.lg.jp

かごしま国体  
ホームページ



スマートフォン対応  
スマートフォンやタブレットでも、かごしま国体の最新情報をチェックできます。



<http://kagoshimakokutai2020.jp/> 鹿児島国体 検索

Interview

シンガーソングライター

辛島 美登里さん



**PROFILE**  
からしま・みどりさん 1961年、鹿児島市生まれ。国立奈良女子大学卒業後、作曲家として活動開始。89年にシンガーソングライターとしてデビューし、「サイレント・イヴ」が大ヒット。霧島高等学校などの校歌も手がけており、薩摩大使、おじゃんせ霧島観光大使、南さつま市外交官なども務めている。



「ふるさとへの想いを歌に込めて」

「サイレント・イヴ」や「愛すること」など、多くのヒット曲で知られるシンガーソングライターの辛島美登里さん。かごしま国体のイメージソングを制作した辛島さんに、曲に込めた想いなどについて伺いました。

— かごしま国体のイメージソング「ゆめ～KIBAIYANSE～」が完成しました。「イメージソングの制作依頼を受けた時は、鹿児島出身の人間として本当に光栄だなと思いました。前回開催された太陽国体(1972年)では、鼓笛隊として縦笛を吹いたり、マスゲームに参加したりしたので、今回このような形でかごしま国体に関わることができて本当にうれしく思います。」

— 幼い子どものかわいらしい「キバイヤンセ」から始まるイントロが印象的でした。「老若男女を問わず、誰もが口ずさめるような、さわやかで親しみやすい曲にしたかったです。「キバイヤンセ」や「テゲテゲ」、「チェスト」といった、鹿児島の方ならほとんどの方が分かる方言も歌詞に入れました。鹿児島を出て、県外に暮らす方にもふるさとを懐かしく、身近に感じてもらえればという思いが強かったですね。イントロは3歳の女の子に歌ってもらいましたが、一緒に「キバイヤンセ」と歌っていくうちにスタジオの雰囲気が変わっていく感覚がありました。「おばあちゃんが口ずさんでいたふるさとのおまじない」と表現しましたが、その感覚を通じて、改めてそう強く感じました。古くから伝わる民謡など、鹿児島にはいい歌がたくさんあります。私の歌も、学校の帰り道やご家庭でみんなで楽しく歌ってもらえたらとてもうれしいですね。」

— かごしま国体の前には、東京オリンピックも開催されます。「実は、私自身はスポーツが苦手なので……(笑)。でも応援は大好きです。国際的なオリンピックと同じ年に、ぐっと郷土愛が感じら

れる国体が鹿児島で開催されるということは、偶然とはいえ面白いですね。太陽国体がそうだったように、かごしま国体も参加される選手やコーチだけでなく、県民の皆さんにとって思い出深い大会になってほしいと思います。」

— 鹿児島の魅力を、より広く伝える機会でもありますよね。「私自身も鹿児島のことが大好きで、薩摩大使やおじゃんせ霧島観光大使、南さつま市外交官といった大役を務めさせていただき、鹿児島との結びつきがさらに深くなったような感じがしています。また、霧島高等学校の校歌なども手がけていただいたので、その卒業生に声をかけていただくと、歌っている私もお手本にならないといけないうと背筋が伸びる思いがしますね。鹿児島にはたくさんの方の魅力があります。その原石をどんどん磨いて、より多くの方が楽しめるように環境を整えていけば、その魅力をさらに感じていただけるのではないかと思います。」



イメージソングのレコーディングで、子どもたちと一緒に歌う辛島さん。

イメージソングはかごしま国体ホームページで試聴できます。  
<http://kagoshimakokutai2020.jp/imagesong/>

かごしま 国体情報

平成29年2月14日に開催した「第75回国民体育大会鹿児島県準備委員会第7回常任委員会」において、2020年オリンピック対策に伴う導入競技(東京オリンピックに向けた選手強化対策として導入する競技(種目・種別))及びその会場地市町村が選定されました。(平成29年6月頃に開催される公益財団法人日本体育協会国体委員会において正式に決定される見込みです。)



鹿児島から  
オリンピック出場を  
目指そう!

平成29年2月14日現在

競技	種目	種別	会場地市町村
水泳	水球	女子	鹿児島市
	オープンウォータースイミング	男子・女子	屋久島町
ボクシング		成年女子	阿久根市
バレーボール	ビーチバレーボール	男子・女子	大崎町
体操	トランポリン	男子・女子	鹿児島市
レスリング		女子	日置市
ウエイトリフティング		女子	薩摩川内市
	トラック	女子	南大隅町
自転車	ロード	女子	錦江町、鹿屋市、南大隅町、肝付町
	ラグビーフットボール	7人制	鹿児島市

アスリートの情熱

下原 卓朗 さん

ウエイトリフティング

「自分の限界に挑戦し続ける」



**PROFILE**  
しもはら・たくろうさん さつま町生まれ。高校入学と同時にウエイトリフティングを始める。長崎国体(2014年)では、成年男子94キロ級スナッチ優勝、和歌山国体(2015年)でも同種目優勝。岩手国体(2016年)では旗手も務めた。

現在、薩摩川内市にある川内高等学校で体育教師をしている下原卓朗さん。高校時代から国体に出場し、長崎国体(2014年)、和歌山国体(2015年)で連覇を果たすなど、鹿児島ではウエイトリフティングの第一人者として知られています。「僕がウエイトリフティングを始めたきっかけは、同じ高校に進学していた2つ年上の兄に勧められたことでした。今と違い、当時の体重は63kgでひょろひょろ。バーベルもまったく持ち上げられなくて、ひたすらきつかったことを覚えています。それでもトレーニングを重ねることで少しずつ記録が伸びていくので、それが楽しく、今まで一度も競技をやめたいと思ったことはありません。」

スナッチの自己ベストは  
151kg!すごい!



そんな下原さんが最も心に残っている大会が、2013年の東京国体。同年6月に開催された国際大会に出場した下原さんは自己ベスト(当時)を更新し、国体でも「当然いい成績を出せるはずだった」と言います。しかし、結果はまさかの記録なし。まったく足が動かず、失格になってしまいました。「今になって思えば、どこかに慢心があったのかもしれない。もちろんショックでしたが、その時の反省を生かすことができたからこそ、その翌年の長崎国体、その次の和歌山国体で連覇を達成できたのだと思います。」



バーベルを持ち上げる直前は集中力を一気に高める。無心で持ち上げるのが理想だという。

昨年開催された岩手国体では、旗手の大役も無事に務め、「とても緊張しましたが、貴重な体験でした」と感慨深げ。今でも毎日トレーニングを欠かさない下原さんの目標ははっきりしています。「2020年は、かごしま国体の前に東京オリンピックが開催されます。オリンピックに出場すること、それが今一番のモチベーションです。もちろん、地元で開催されるかごしま国体でも優勝しか狙っていません。これからも自分の限界まで、ウエイトリフティングを続けていきたいと思っています」。

スポーツを知る

かごしま国体で実施される競技の魅力を紹介します

セーリング

風を感じながら、海面を疾走する



錦江湾では毎年、セーリング大会が開催されている。

セーリングは、スタートラインからフィニッシュラインまでのスピードを競います。コースには台形や三角形にレイアウトされたブイ(※)が設置されていて、決められたコースを通過していきます。波や風、潮などを読み、自然の力だけで船を操縦するところに難しさ醍醐味があります。

1996年のアトランタオリンピックまではヨット(競技)と呼ばれており、今でも一般的ですが、各種大会ではセーリングという名称が使われています。鹿児島県では太陽国体を機に、平川ヨットハーバー(鹿児島市)を拠点として選手の育成・強化が始まりました。また、鹿児島県セーリング連盟が主催するヨット教室(子どもから大人まで)は30年以上の歴史があり、競技人口の拡大や競技の普及を目指して、現在も定期的に開催しています。

※ブイとは、海面に配置される「浮き」のことです。



国体では成年・少年  
合わせて10種目が  
開催されています!

ゴルフ

年齢を問わずに、世界中で親しまれる



2020年のかごしま国体に向けて、ジュニア世代の強化・育成は欠かせない。

いかに少ない打数で、直径わずか108ミリのカップにボールを入れられるか。通常、18ホール合計打数で順位が決まるゴルフは世界中で親しまれ、同時に年齢を問わず楽しめる生涯スポーツでもあります。国体では、1999年の熊本国体から正式競技に採用されました。成年男子・女子、少年男子の種別があり、3人1組で競います。

鹿児島県で最初のゴルフ場は、1957年に設立された霧島ゴルフクラブ。現在、27のゴルフ場が加盟する鹿児島県ゴルフ協会では、競技人口の拡大のため、ジュニアの育成にも力を入れています。近年、成人を抑えてジュニア世代が大会で優勝するなど、かごしま国体に向けてその成果が着実に現れてきています。



四季を感じながら  
プレーできるのも  
ゴルフの醍醐味